

2022 年度 第 89 回 高等科卒業式

爛漫の候をすぐそこに迎えようとする春の確かな歩みがそぼ降る慈雨の中にも感じられます。

第 89 回卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、光塩女子学院高等科ご卒業おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

光塩の中等科に入学なさった頃、まだ幼さを残していた皆さんが、今は背丈も伸び、その面差しに様々な困難を乗り越えてきた自信をたたえた、立派な大人に成長しました。

皆さんが高等科に進学した 2020 年は、当時としては未知のウイルス新型コロナの感染症パンデミックのため、入学式も行うことができず、私たち教職員にとっては皆さんにお会いすることができない寂しい年度初めとなりました。

6 月になってようやく、毎日ではないものの登校を再開できました。しかし、せっかく久しぶりに会う級友ともスキンシップは厳禁、会話はできる限り離れてフィジカルディスタンスを保つ。密接・密集・密閉の三密を避けるなど様々な制約がありました。

山荘、体育祭は実施できず、親睦会、クリスマス会、弁論大会はオンラインでの実施でした。

思い描いていたものとは異なる不自由な高等科生活の始まりの年でしたが、学校にいる時間をとても大切にして、自分たちで楽しむ皆さんの姿に私たち教職員も慰められたことを思い出します。

高等科 2 年生になってからは、新型コロナウイルス感染症流行の波に苛まれながらも対面授業が行われ、光塩祭、体育祭、親睦会、クリスマス会などの行事もできる範囲で対面実

施されました。印象深かったのは体育祭の応援と親睦会です。

体育祭の応援合戦では、クオリティの高いダイナミックな振り付けとよく練られた構成とで見入る人を圧倒しました。

親睦会においては、学年としての出しものをクラスごとに企画し、実施しました。お化け屋敷、クイズなどの「謎解き」、ミニゲームを楽しめる「秋まつり」の三企画でした。どの企画も大盛況で売り上げの多さもさることながら、たくさんのお客様の笑顔にあふれ、大賑わいでした。その他に、有志の方が得意分野を活かし写真を撮ったり絵を描いたりしてカードや葉を作って販売するなど、コロナ禍だからこそその創意工夫を凝らした企画もありました。皆さんは後輩たちのお手本となり、今後の親睦会の新たな可能性を示してくれたと言えます。

京都・奈良への修学旅行は、新型コロナ第5波の影響で延期となり、3月末に1泊2日の短縮行程で実施予定と変更になりました。しかし、それすらも今度は新型コロナ第6波の影響で困難となり、宿泊ではなく日帰りの遠足へと再度変更となってしまいました。皆さんはさぞやがっかりされたことと思います。それでも気持ちを切り換えて、3月末には八景島シーパラダイスへの遠足をいきいきと楽しんでいました。

高等科3年生になってからの光塩祭は、それまでのコロナ禍での光塩祭と異なり、4月に入ってから活動時間を確保でき、じっくり準備できた上での開催となりました。そのおかげで、どの部活の発表・試合もそれぞれが実力を存分に発揮できたものとなりました。その後、新型コロナ第7波が夏に襲来しましたが、9月には落ち着きはじめ、体育祭に向けての準備

もしっかり行うことができました。そして、体育祭本番は、なんと3年ぶりに所沢市民体育館にて中高6学年が一堂に会して実施することができました。日頃は楚々として穏やかな人も勝ちにこだわり、見事な学年の結束により競技においても応援合戦においても優勝！実に気持ちのいい勝ちっぷりを見せてくれました。応援合戦では、周りを圧倒するような威风堂々とした力強さに加え、ここまでの歩みは自分たちだけによるものではない、多くの方々の支えによると感謝の気持ちを表現して、見る人の心をあたためとらえて離さない応援を披露してくれました。体育部をはじめとする係の方々の活躍も目を見張るものがありました。慣れない後輩たちに指導し、高2の代表者を立てながらの細やかなサポートも頼もしいものでした。

12月のクリスマス会合唱コンクールにおいては、6年間の集大成にふさわしく共に歩んだ級友への思いを込め、伸びやかな歌声で洋々たる未来を思わせる力に満ちた合唱を披露し、栄えある金賞を受賞しました。

皆さんは、コロナ禍でやりたいことが思うようにできない状況の中でも、創意工夫して新しいものを生み出してきました。その上、この3年間、何度、感染拡大の大波が押し寄せても、学級及び学年閉鎖になることはありませんでした。これは皆さんが、変異するたびに感染力を増すウイルスに対して、各自の知恵と工夫を尽くし、身体的にも精神的にも精一杯努力してきた証と言えるでしょう。

担任の先生に皆さんの印象を尋ねたところ、次のようなものが挙げられました。

先生の指示をよく聴き、その指示の意味を理解した上で、深く自分で考察し掘り下げることができた。

皆で一緒に議論しながら学び合い、高め合うことができた。

繊細で真面目で几帳面、周囲の人を尊重し、一緒に健やかに生きる社会を創造しようとする寛大さを持ち合わせている。

色とりどりの個性派、思い悩むことの多い人にも寄り添い、受け入れることができる。

部活や委員会活動においてリーダーシップを発揮し、後輩たちの手本となり、導くことができた。

というものでした。

担任の先生の話聴きながら私の脳裏には、皆さんが中学生の頃からの様々な思い出がよみがえってきました。その中で特に印象深く思い出したことは、まだお互いを認め合うことが難しく対人関係において悩んでいたこと、ご自身の心の中で引っかかっていることを乗り越えきれないで苛立ちを覚えていたことなどです。

高等科 3 年の担任の先生の印象と比較してみると、皆さんは 6 年の歳月をかけてゆっくりお互いを認め合い、色とりどりの個性を受け入れ合う寛容さを育んだこと。そして、その仲間と切磋琢磨してお互いに学び合い、高め合う関わりを築いてきたことが明確になります。

皆さんは 6 年間の歩みにおいて、時間をかけて自分の中のかげがえのない「光」と「塩」を見つけ、それを大切にあるがままに認めることを知りました。そのおかげで、周りにいる仲

間の色とりどりの「光」と「塩」を寛大に受け入れ、一人では到達できなかったかもしれない新たな高みに、共に進んでゆくことができる関わりにまで至ることができました。

皆さんは、今日この学び舎光塩を巣立ち、これから多種多様な方面に羽ばたいていきます。これまでの歩みを礎として新しく置かれた場で、改めてご自身のかけがえのない「光」と「塩」を見つけて認め、新しく出会った方々の色とりどりの「光」と「塩」を寛大に受け入れる関わりを築いていってください。この営みはまさに Women for Others の実現です。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。このように成長なさったお嬢様方を、今日一層頼もしく、誇らしく感じていらっしゃることでしょう。お嬢様方のご卒業はご家族の皆様方にとっても、まさに一つの区切り、「卒業」の時でもあると思います。お慶び申し上げます。

本日、お嬢様方の卒業式に居合わせ、お一人おひとりに卒業証書をお渡しできましたことは、私にとって大きな喜びです。間近にお顔を拝見し、6年間の成長の証をひしひしと実感いたしました。これから、さらに成熟なさり、世界に羽ばたかれご活躍なさることを確信しております。

お嬢様方が在校中に、充実した学校生活を送ってくださったことは、保護者の皆様のご協力・ご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

お嬢様方の今後のますますのご成長とご多幸、ご活躍を心よりお祈り申し上げて、お祝いと感謝のご挨拶とさせていただきます。